

3 景観形成推進ゾーンの方針

(1) 景観形成推進ゾーンの選定

景観形成方針に基づいた景観づくりを効果的に進めるためには、景観形成上重要なところから重点的に景観形成を推進し、取り組みの成果を目に見えるようにしていくことが重要です。

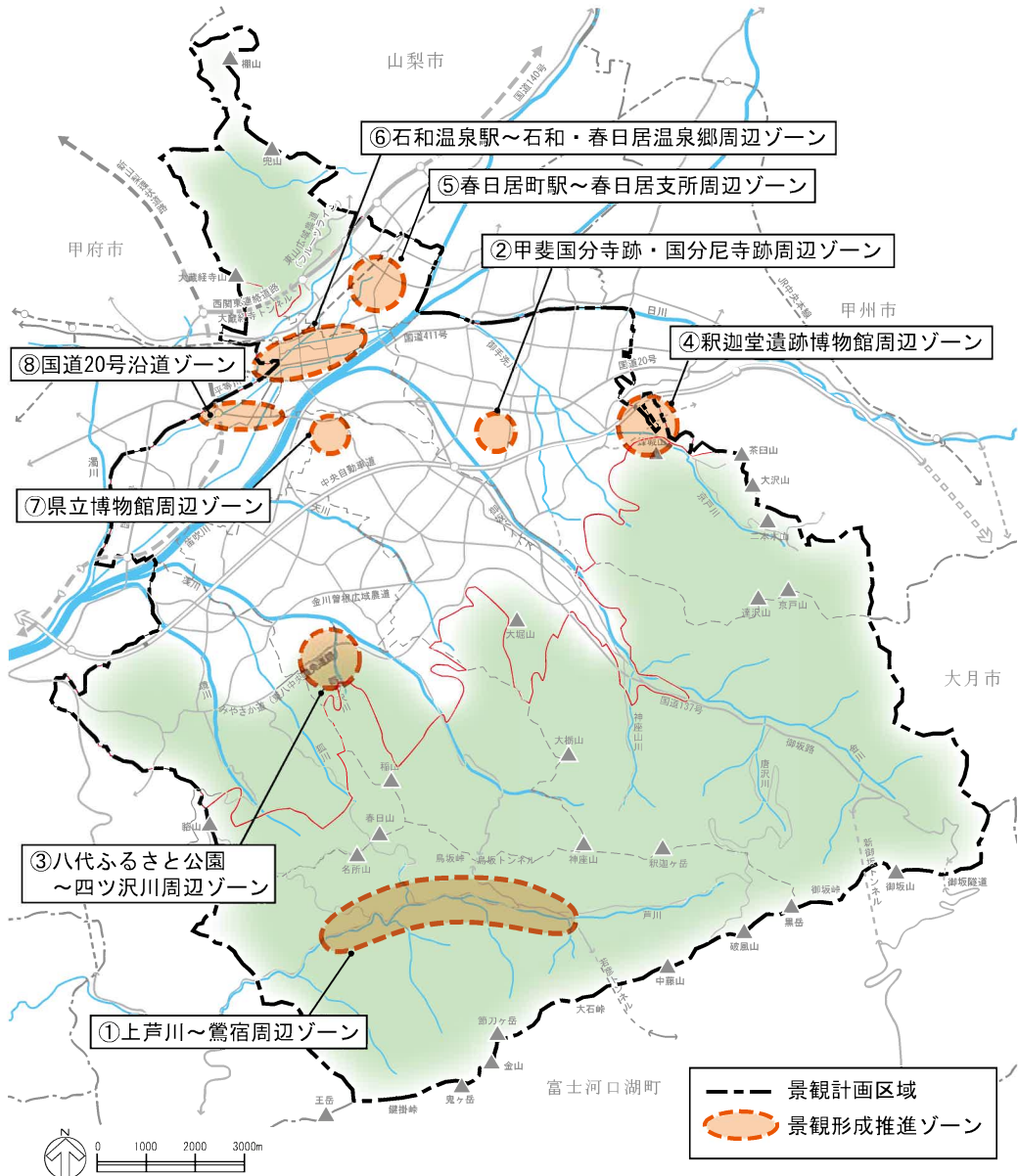
このため、本市の中でも、特に先導的かつ重点的に景観形成を推進すべき一定のゾーンを「景観形成推進ゾーン」として位置づけ、できるところから無理のない着実な取り組みを進めていきます。

ここでは、以上の考え方に基づいて、下図に示す8ヶ所の「景観形成推進ゾーン」を選定しました。

■景観形成推進ゾーン選定の考え方

- 笛吹市らしさ・象徴性を担い、本市のシンボルとして良好な景観形成が不可欠なところ
- 際立った特徴と高い景観的資質を備え、景観の保全・整備の必要性が高いところ
- 景観に関わるまちづくりプロジェクトが実施あるいは計画されているところ
- 地域住民による主体的な景観まちづくりの取り組みが行われているところ など

■景観形成推進ゾーン



(2) 景観形成推進ゾーンの景観形成方針

① 上芦川～鶯宿周辺ゾーン

■特性と課題

- ・芦川沿いに位置する上芦川、新井原、中芦川、鶯宿の集落で、兜造り古民家群や石垣の段々畑、伝承と信仰の歴史を伝える石造物群、農耕習俗を物語る歴史文化等の郷土の原風景が残されている地域です。
- ・平成22年に景観条例が制定され、独特の集落景観を維持・保全する活動と検討が進められています。また、溪流・溪谷等の豊かな自然環境は、キャンプやハイキング等のレクリエーション活用が行われています。
- ・少子高齢化と過疎化が顕著であり、空き家も増加しているなど、集落環境の維持・継続が懸念されています。



・兜造り民家群

■景観形成の目標

郷土の原風景となる集落景観を守り、魅力を次代に継承する元気な里づくりを目指します

■景観形成方針

①郷土の原風景、兜造り古民家群・石垣の段々畑などの文化的景観を守り・継承します

- 兜造り古民家（伝統的建造物群の選定検討）や石垣の段々畑等の文化的景観制度を活用した維持・保全
- まちなみ協定など住民による風景資産保全のためのルールづくり、景観を維持する伝統技術の継承等

②風土に培われた身近な風景資産や豊かな環境を維持し、魅力ある山里の風景づくりを進めます

- 社寺、古民家、石造物、東西往還等の古道、里山等の保全と、民俗文化等の潜在的歴史資源の顕在化
- 統一したサイン、休憩スポット整備、看板・標識類の改善、若彦路沿道の景観誘導、景観マップ作成等

③懐かしい風景に多くの人が訪れる、交流の盛んな元気な里づくりを進めます

- 空き家・過疎対策の推進（空き家のエコミュージアム活用、古民家宿泊、山里体験、田舎暮らしの普及、古民家活用の「まちの縁側」づくり（コミュニティ・交流の場、縁側喫茶、情報発信）など）
- 特産品の開発、地産地消の推進、農産物直売所の充実、地域情報・観光PRの充実
- 若彦路や暮らしのみちの顕在化と修景づくり、山里のフットパス形成、グリーンツーリズムの推進

② 甲斐国分寺跡・国分尼寺跡周辺ゾーン

■特性と課題

- ・一宮地区の扇状地に広がる樹園地に位置するゾーンで、史跡は国の文化財に指定され、甲斐国千年の都を物語る重要な景観資源でもあります。現在史跡公園整備が進められています。
- ・史跡内の樹園地では、市による遺跡の実態調査が行われています。また、周辺の遊休農地や史跡内では、景観緑地として菜の花の植栽等が進められています。
- ・扇状地に広がる農の風景と穏やかな集落景観、近接する県立森林公園金川の森の豊かな緑と環境、山なみの眺望、県を代表する数多くの歴史文化資源、水路や小径等を活用し、桃源郷と歴史文化が一体となった、文化都市を象徴する景観形成が望まれています。



・甲斐国分寺跡

■景観形成の目標

甲斐国千年の都の重厚な歴史文化資源と、桃畑の樹園景観が調和する景観の創出を目指します

■景観形成方針

①山梨県を代表する甲斐国千年の都の歴史文化遺産を守り、風格ある景観づくりを進めます

- 樹園景観と調和する史跡公園整備の推進（広場・案内板設置、眺望の確保、アクセス路・駐車場整備）
- 歴史景観拠点の魅力の向上（金川や水路と連携する散策ルートづくり、文化学習の場としての活用等）
- 史跡復元に伴う周辺景観と一体となった修景、案内板設置等による歴史性の周知とPRの充実

②身近な景観資源を活用し、歴史文化と桃源郷が調和する風景づくりを進めます

- 優良農地の保全、菜の花畑等の景観緑地活用の促進、大木・古木、屋敷林等の景観資源活用
- 周辺景観に配慮したまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善、金川曾根広域農道の適切な景観誘導

③四季の彩りを楽しみ、文化の香りと桃源郷をめぐる回遊ルートを創出します

- 国道20号勝沼バイパスからのアクセス整備、金川曾根広域農道の歩道整備
- 歴史の散歩道等の観光ルートの整備、県立森林公園金川の森との連携、桃源郷と歴史文化をめぐるフットパスの形成、サイン・案内板の設置
- 四季折々の緑化の推進、菜の花プロジェクトの促進、景観マップの作成、観光と連携したPRの充実

③ 八代ふるさと公園～四ツ沢川周辺ゾーン

■特性と課題

- ・八代地区のみやさか道沿道の樹園地から四ツ沢に沿う森林ゾーンで、山麓の良好な眺望景観と、ホタルの生息など森と水辺の貴重な生態系、丘陵地形に沿った樹園地と里山の景観が特徴です。
- ・ホタルの里づくり、地域住民による四ツ沢川のホタルの育生、森林文化の森に指定される稲山ケヤキの森のレクリエーション活用など、豊かな自然環境に多くの人が訪れています。
- ・良好な眺望を有するみやさか道（東八中央農免道路）の修景整備や、リニア実験線整備についての景観・環境への配慮が望まれています。



・八代地区のほたるの里

■景観形成の目標

優れた眺望、森と水とホタルの豊かな環境を活かし、交流を育む景観づくりを目指します

■景観形成方針

①ホタルと共生できる豊かな自然環境を守り、育てます

- ホタルの里づくりの推進（ホタルの生育環境と森林、四ツ沢川水辺の保全、生息調査・監視の強化等）
- 森林周辺の土地に関する行為の制限、自然や景観に配慮した施設整備の推進、協働による保全活動促進

②ふるさとと里山と森を守り、活かし、交流を育む場を創出します

- 森林文化の森の維持・保全、稲山ケヤキの森のレクリエーション活用の促進、アクセス性の向上
- 里山づくりの促進（植生の回復、植樹活動、森林環境学習、里山体験の充実、トレイル整備等）
- 里山や森を活用したグリーンツーリズム、エコツーリズム、森林セラピー事業等の推進

③優れた眺望を守り、視点場の魅力を高める景観形成を進めます

- 八代ふるさと公園拡充整備の推進、展望広場の整備、アクセス整備、案内・サインの充実
- ふるさと風景回廊（みやさか道）の景観形成、眺望スポット整備、緑化・サイン設置、付帯施設の改善
- リニア実験線の周辺環境・景観に配慮した適切な景観誘導、優れた眺望を守る景観阻害要因の改善

④ 釈迦堂遺跡博物館周辺ゾーン

■特性と課題

- ・一宮地区の中央自動車道釈迦堂PAに隣接する、山麓の緩やかな丘陵地に形成された農業集落ゾーンで、周辺は歴史文化の拠点、良好な眺望スポットとして多くの市民や観光客に親しまれています。
- ・扇状地に広がる樹園地の保全とともに、桃源郷の眺望を象徴する良好な視点場の保全・活用が望まれます。
- ・歴史文化と眺望景観に加え、山頂に山城跡があり三角形の整った山容の蜂城山など、桃の郷に奥行きを与えている地域景観の創出と、交流・レクリエーション拠点としての活用が望まれています。



・博物館からの眺望

■景観形成の目標

全国に誇る桃源郷の眺望を守り、活かし、樹園景観と協奏する景観の創出を目指します

■景観形成方針

①全国に誇る桃源郷の眺望を活かす、観光交流拠点の魅力づくりを進めます

- 釈迦堂遺跡博物館の歴史景観拠点の機能充実、釈迦堂PAと連携した観光交流拠点の魅力の向上
- 桃源郷を象徴する優れた眺望拠点の魅力づくり（展望広場の充実、農地周辺の土地や建築物等に関する行為の制限、眺望等への景観阻害要因の改善、周辺からの眺望に配慮した修景整備、PRの充実）

②樹園景観の保全と、永い営みにより培われた集落景観の魅力を高めます

- 樹園景観の保全、遊休農地を活用した交流促進（観光農園・体験農園の普及、地産地消の促進等）
- 眺望に配慮した建築物や工作物等の適切な誘導による里山や農村景観の保全、千米寺・石古墳群、蜂城山など景観資源の活用、グリーンツーリズム、エコツーリズム、里山体験の推進、眺望スポット整備等

③桃源郷を体感するルートづくりとふるさと風景回廊の魅力づくりを進めます

- 主要地方道白井甲州線のふるさと風景回廊の景観形成（ワイナリー等の観光資源と連携した観光ルート整備、道路空間の修景整備と特色ある緑化、第二農免道路のアクセス整備、スカイラインの確保、眺望スポット整備、案内板・誘導サインの設置、屋外広告物やまちなみの適正な規制・誘導等）
- 桃源郷と樹園集落地を巡る里山のフットパスの形成、ハイキングルートの充実

⑤ 春日居町駅～春日居支所周辺ゾーン

■特性と課題

- ・笛吹川と西山の間に展開する樹園地、農業集落ゾーンで、春日居町駅や春日居支所等の拠点、温泉や足湯、農産物直売所等の観光交流施設、寺本廃寺跡や国府周辺の歴史資源等が集積しています。
- ・桃源郷の優良農地の維持・保全、農地と宅地の混在化への対応と併せ、桃畑が一面に広がる駅周辺、ピーチラインの景観保全など、良好な景観を活かすまちづくりが課題となっています。
- ・山梨最古の寺である寺本廃寺跡や国府遺跡などにみられる甲斐国発祥時の行政・文化の中心地として栄えた歴史性、社寺、文人ゆかりの地、温泉街への近接性など、潜在的な景観資源を活用した景観形成と活性化が望まれています。



・春日居町駅前の桃畑と菜の花

■景観形成の目標

美しい桃源郷と歴史文化資源、地域のもつ良好な景観を活かす果実の郷づくりを目指します

■景観形成方針

①桃畑に包まれた駅周辺の景観維持と魅力の向上、観光・交流を育む果実の郷の景観を創出します

- 桃畑に包まれた春日居町駅周辺の景観保全と玄関口の魅力づくり、桃と菜の花による景観づくりの促進、果実の郷を象徴するモデル的なまちなみ誘導、西山の眺望確保、足湯の有効活用、温泉街との連携
- 優良農地と集落景観の保全、農村交流の推進（観光農園・体験農園、グリーンツーリズムの普及）、桃畑が一面に広がるピーチラインの良好な景観の維持、有効活用
- 県道一宮山梨線の賑わい空間の形成、道路空間の修景・緑化推進、まちなみ景観誘導、歩行空間の確保
- 活気ある果実の郷づくり（農産物直売所の充実、地産地消の促進、空き店舗の活用、観光PRの充実等）

②古代から中世にかけて中心地であった歴史性など、潜在的な景観資源を活かす風景づくりを進めます

- 寺本廃寺跡周辺の史跡公園整備、社寺、郷土館、記念館、屋敷林等の身近な景観資源の顕在化と活用
- 歴史文化と桃源郷をめぐるフットパスの形成（春日居の散歩道との連携、身近な資源や農道・水路等の活用、レンタサイクルの充実、西山周辺ハイキングコースとの連携、休憩スポット・サイン整備等）

③生活交流拠点の魅力向上と良好なまちなみ景観の形成を図ります

- 地域資源の集積する春日居支所周辺の文化交流拠点の形成、まちなみ景観の適正な誘導等

⑥ 石和温泉駅～石和・春日居温泉郷周辺ゾーン

■特性と課題

- ・石和地区の中心市街地および住宅地や一部に農地が混在するゾーンで、石和温泉駅、石和温泉郷をはじめ、商業地や行政文化拠点など、主要な都市機能が集積する本市の中心市街地と観光の拠点を形成しています。
- ・石和・春日居温泉郷は、県を代表する温泉観光地であり、甲斐国の中心都市、甲州街道宿場町としての歴史性を有しています。
- ・駅周辺の賑わい向上と景観整備、歴史文化資源の活用や特色ある温泉街の修景、中心市街地の活性化と景観向上、まちなみ景観や農地と宅地の混在化への対応など、ゾーン全体が本市の顔となる一体的な景観形成が望まれています。



・石和温泉駅前通り

■景観形成の目標

まちの玄関口、温泉郷、中心市街地が調和する、本市の顔となる賑わいと交流の景観の創出を目指します

■景観形成方針

①本市の玄関口となる駅周辺の景観形成と、観光と交流・おもてなしの心が感じられる風景を創出します

- 本市の玄関口となる石和温泉駅周辺の景観形成、新しい駅舎の整備、駅から連続する温泉郷を感じさせる修景整備、中心商業地の広告物やまちなみ誘導、大蔵経寺山の眺望確保、花植え・緑化の促進
- 主要観光施設、ワイナリー、足湯、観光農園等と連携する賑わい空間の創出、樹園景観との調和
- 河川水辺空間等の眺望スポットの整備、親水空間のレクリエーション活用
- 駅と温泉街を結ぶ回遊ルート、サイクリングロード等を活用した景観ネットワークの形成

②県下に誇る果樹の郷の温泉郷の歴史と風情を演出する景観づくりを進めます

- 温泉街の建物等の適切な景観誘導、甲斐国千年の都の歴史性を表す景観の創出、統一したサイン整備
- 石和本陣跡、陣屋跡、八田家書院、国府等の歴史資源の活用と歴史文化の散歩道の形成、PRの充実
- 近津用水、さくら温泉通り等を活用した温泉街の風情演出、温泉郷・桃源郷をたどるフットパスの形成

③中心市街地のまちなみ景観の形成とふるさと風景回廊の魅力づくりを進めます

- 住宅地の良好なまちなみ景観の形成、宅地化が進む農地の適切な開発コントロールによる景観誘導
- 市部通りや駅前通り等の道路空間の修景・緑化、賑わいの創出、まちなみ景観の適正な誘導等

⑦ 県立博物館周辺ゾーン

■特性と課題

- ・御坂地区北西部の農業集落ゾーンで、国道20号と県道栗合成田線（御坂みち）の交差点付近に位置し、周辺は施設や住宅が果樹園の中に展開する本市の郊外部を代表する景観となっています。
- ・県立博物館は山梨県を代表する施設で、周辺は総合教育センターやみさかの湯が立地し、国道20号沿道は商業・業務施設の集積もあり、開発ポテンシャルの高いゾーンとなっています。
- ・農地と増加傾向にある住宅地の計画的な土地利用の誘導、樹園地の農の風景の保全と歴史文化的景観資源を活用した、魅力ある拠点の形成と良好なまちなみ景観が望まれています。



・県立博物館

■景観形成の目標

桃源郷の印象を演出し、交流を高める新たな景観拠点の創出を目指します

■景観形成方針

①魅力ある新たな観光・交流拠点の景観づくりを進めます

- 国衙跡や御坂路などの歴史文化の顕在化と合わせた景観拠点の形成、みさかの湯等を活用したレクリエーションゾーンの形成
- 周辺施設の連携強化、アクセス向上により周辺の樹園風景と調和する新たな観光・交流拠点の創出

②樹園景観に配慮したふるさと風景回廊の創出と適切な景観誘導を図ります

- 国道20号、県道栗合成田線の賑わいあるふるさと風景回廊の魅力づくり（景観資源を活用した観光ルートの魅力向上、道路・歩行者空間の修景整備、特色ある緑化、眺望への配慮、案内板・サインの設置）
- 開発行為の適正な誘導、屋外広告物や建築物等の適切な規制・誘導等によるまちなみ景観の向上

③優良農地の保全と、樹園景観と調和するまちなみ景観を形成します

- 優良農地の保全、遊休農地を活用した農村交流の推進（観光農園・体験農園、景観緑地づくりの普及）
- 計画的な土地利用に基づく農地への無秩序な宅地化の抑制、適切な開発コントロールの誘導
- 樹園景観と調和する郊外住宅地の良好なまちなみ景観の形成、生け垣等の緑化の促進

⑧ 国道20号（甲府バイパス）沿道ゾーン

■特性と課題

- ・国道20号（甲府バイパス）沿道の郊外市街地ゾーンで、ロードサイド型の大型店舗等の商業・業務施設が集積する賑わい景観をみせています。
- ・沿道商業地背後で進む農地と宅地の混在、まちなみ景観の中で突出するイメージを与える沿道の大規模施設立地、乱立する看板・広告類などの課題を改善し、本市の中心市街地の骨格的な幹線道路・広域的な観光道路として、周辺景観と調和するシンボリックな賑わい空間の創出と良好な景観誘導が望まれています。



・国道20号（甲府バイパス）

■景観形成の目標

魅力ある賑わい・交流のシンボリックな道路景観づくりとまちなみ景観の向上を目指します

■景観形成方針

①ふるさと風景回廊としての賑わい景観の創出と、観光・交流の骨格道路としての魅力づくりを進めます

- 道路空間・歩行者空間の修景整備、景観に配慮した道路施設整備、街路樹や沿道緑化など、シンボリックで魅力ある賑わい・交流の感じられる道路景観づくり
- ふるさと風景回廊の賑わい景観の創出（沿道周辺の観光施設の活用、遠景の山なみ（スカイライン）の確保、まちかど花壇の設置、案内板・サインの充実）
- 人々を石和温泉駅や温泉街へ導く玄関口となる石和橋西交差点、四日市場交差点の特色ある景観形成（統一感のある修景、まちかど広場、案内・誘導サインの充実等）

②景観に配慮した建築物や広告物等の適切な誘導による沿道のまちなみ景観の向上を図ります

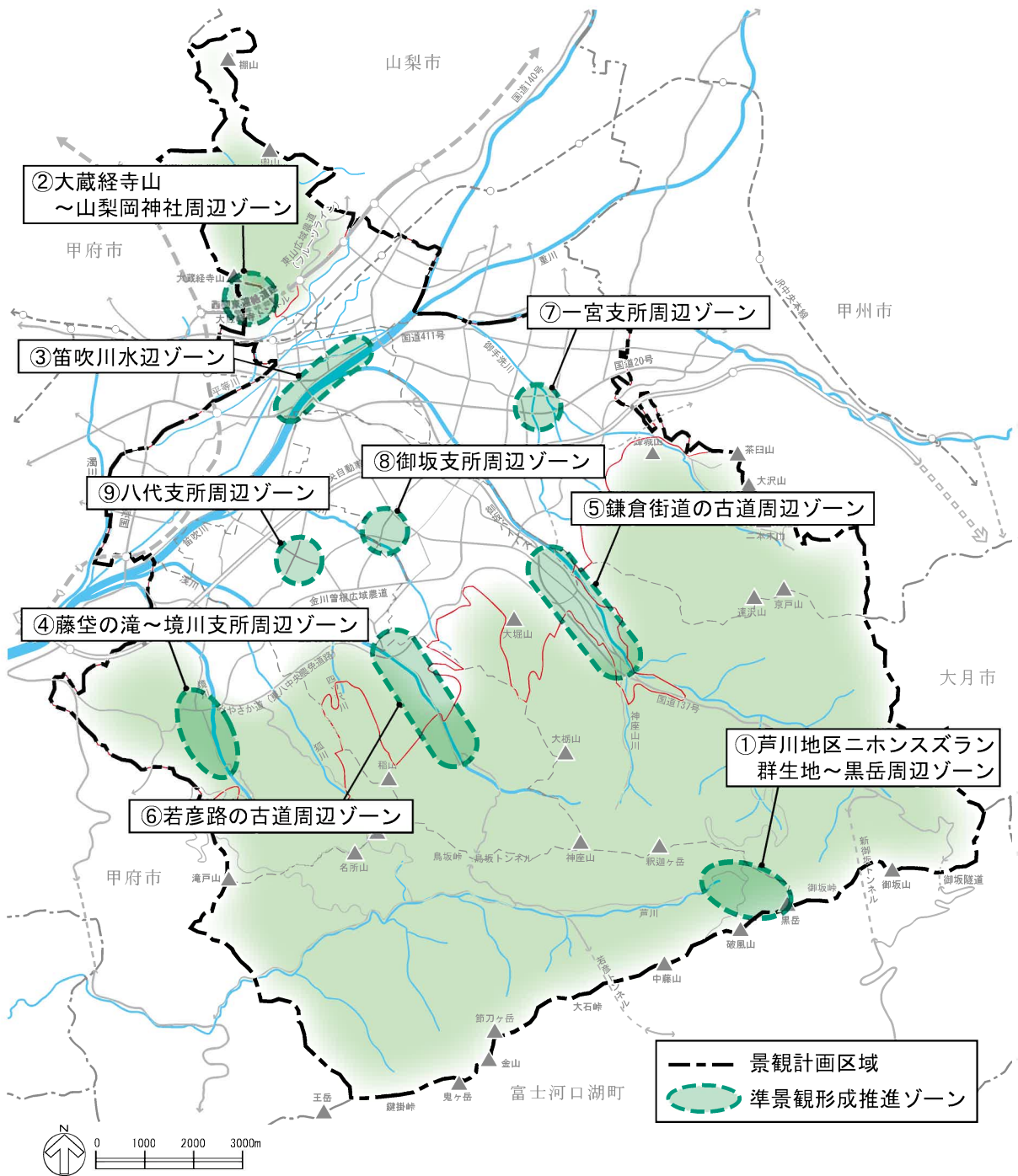
- 都市計画と連携し、大規模店舗等の開発行為への適正な誘導、周辺景観に配慮した建築物等の高さや色彩等の適切な規制・誘導、壁面後退等によるゆとりある沿道空間の確保と沿道景観の向上
- 看板や幟等の屋外広告物、照明や色彩等の適切な誘導、交通標識等のサイン類の統合・共架、その他景観阻害要因の改善等

(3) 準景観形成推進ゾーンの選定

前項において、景観形成推進ゾーンを8ヶ所選定し、それぞれについて景観形成の方針を示しましたが、景観形成推進ゾーンは固定的なものではなく、今後必要に応じて順次追加していくものと位置付けています。

このため、先導的に景観形成を推進する「景観形成推進ゾーン」に準じ、今後、追加を検討していくべきところを「準景観形成推進ゾーン」として位置づけ、次に示す9ヶ所を選定しました。

■ 準景観形成推進ゾーン



■ 準景観形成推進ゾーンの主要な景観形成方針

推進ゾーン	主要な景観形成方針
① 芦川地区ニホンズブラン群生地～黒岳周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・「山梨県自然環境保全条例」ニホンズブラン群生地（自然記念物）、黒岳周辺のブナの原生林（自然保存地区）の貴重な自然環境の厳正な保全 ・森林の維持・保全とレクリエーション活用
② 大蔵経寺山～山梨岡神社周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・大蔵経寺山（山梨県自然環境保全条例）の保全とレクリエーション活用 ・山梨岡神社（歴史景観保全地区）の保全と歴史資源の活用 ・市街地後背のシンボリックな山容、眺望の活用 ・落ち着いたたたずまいの集落景観の維持・保全
③ 笛吹川水辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・本市のシンボルとなる笛吹川の修景と親水空間の形成 ・鶴飼橋・蛍見橋等の橋梁周辺の眺望スポットづくり ・笛吹市役所周辺の行政文化拠点の景観形成 ・サイクリングロードのレクリエーション活用、散歩道の形成 ・石和温泉街の近津用水等と連携した水辺交流ゾーンの形成（桜並木、フットパス、祭り・行事等の活用）
④ 藤袋の滝～境川支所周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・藤袋の滝のミズバショウ等の保全、境川の河川景観の保全、大窪いやしの杜公園と水辺のレクリエーション活用 ・藤袋の集落と里山景観の保全と活用 ・境川支所周辺（生活交流拠点）の景観形成 ・みやさか道の眺望景観の活用
⑤ 鎌倉街道の古道周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・上黒駒・下黒駒、新田等の古道沿道の集落景観づくり ・社寺、道祖神、石仏、大木・古木等の保全と活用 ・金川上流域と湧水の水辺環境と景観の維持・保全 ・鎌倉街道（御坂路）の眺望スポットの保全と活用
⑥ 若彦路の古道周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良原・竹居等の古道沿道の集落景観づくり ・社寺、道祖神、石仏、大木・古木等の保全と活用 ・ホテルの生息環境や浅川上流域の水辺環境と景観の維持・保全 ・若彦路の眺望スポットの保全と活用 (その他、花鳥山一本杉の眺望活用・アクセス路整備)
⑦ 一宮支所周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮支所周辺の生活交流拠点とまちなみ景観の形成（市道沿道の適切な景観誘導） ・優良農地の保全と樹園地の活用 (その他、甲斐一宮浅間神社、慈眼寺等の景観資源の活用)
⑧ 御坂支所周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・御坂支所周辺の生活交流拠点とまちなみ景観の形成（県道栗合成田線、市道1-28号線沿道の適切な景観誘導） ・ふるさと風景回廊の景観形成（賑わい系） ・優良農地の保全と樹園地や丘陵地の眺望景観の活用
⑨ 八代支所周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・八代支所周辺の生活交流拠点とまちなみ景観の形成（主要地方道甲府笛吹線、白井甲州線沿道の適切な景観誘導） ・ふるさと風景回廊の景観形成（交流系） (その他、八代郷土館、社寺群、古墳等の遺跡・史跡、歴史的建造物等の景観資源の保全と活用)



・八代ふるさと公園